

国際学会派遣フェローシップ 2026年度（前期）分の募集について

2026年度・前期の国際学会派遣フェローシップ（以下「フェローシップ」と記します）による助成希望者の募集を行います。

このフェローシップは、「国際学会派遣フェローシップ規程」に基づき、日本国外において開催される法社会学関係の国際学会の学術大会で研究報告を行う初期キャリア研究者に、渡航旅費の一部（派遣地域により10万円～20万円）を支給することを内容とするものです。

2026年度・前期（2026年4月～2026年9月）に開催される法社会学関連の国際学会で研究報告を予定されている会員で、原則として35歳以下の方は申し込むことができます。ただし、応募時に36歳以上であっても、研究者としてのキャリアのスタートが遅かった等の特段の事情がある場合には、応募する資格を有しますので、該当する可能性のある方は事前に国際委員会までご相談下さい。

なお、応募時点までの会費を納入していることを応募の条件とすることにご注意下さい。

フェローシップによる助成対象者は、助成対象の国際学会において研究報告を行うことのほか、成果報告書の提出、国際学会への参加を証明する書類の提出、助成対象研究報告の内容について日本法社会学会学術大会で報告をするよう努力すること、および助成対象研究報告の内容を論文として刊行するよう努力すること、が義務付けられます（国際学会派遣フェローシップ規程参照）。

助成を希望する方は、学会ウェブサイト（<https://jasl.info/ippan/fellowship>）より申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、ファイルをメールに添付し、国際委員会（jasl-intl@list.waseda.jp）までお送り下さい。締切は2026年2月末日です。

助成対象者は、国際委員会が審査の上で決定し、3月下旬を目途に本人宛にメールで通知します。

たくさんの会員の皆様からのご応募を期待しております。

日本法社会学会国際委員会